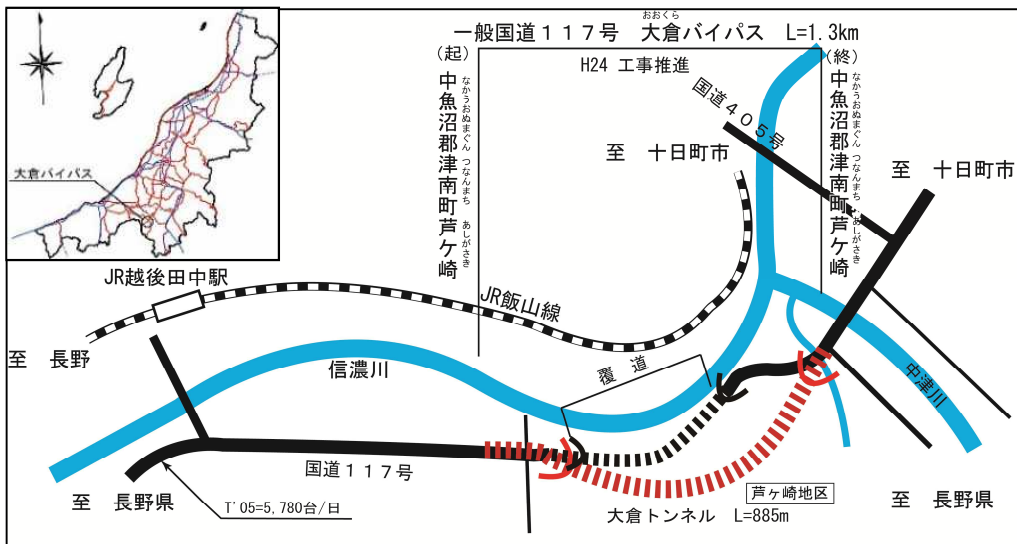


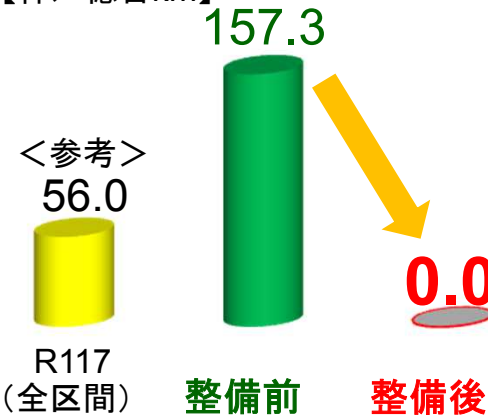
大倉バイパスの整備により、安全で円滑な交通が確保

- ・国道117号は長野県と新潟県を結ぶ幹線道路であり、大型車の通行が多い路線である。
- ・整備前は、川と急峻な山に挟まれた場所に位置する覆道で、幅員が狭いため大型車のすれ違いが困難であった。
- ・幅員狭小により車両同士の交通事故も度々発生しており、死傷事故率は同路線の中でも高い。
- ・**大倉バイパスの整備により、死傷事故率が減少するとともに、安全で円滑な交通が確保された。**



大倉バイパス整備区間における整備前後での死傷事故率の変化

【件/億台km】



※全区間...平成23年の統計値
 ※整備前...平成23年の統計値
 ※整備後...平成24年の統計値

